



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー

上場取引所 東

コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一

TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 動画配信のみを予定

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	12,131	10.4	883	51.4	905	50.5	497	52.8
2019年12月期第2四半期	10,992	26.5	583	12.3	601	13.5	325	9.8

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 489百万円 (46.1%) 2019年12月期第2四半期 334百万円 (2.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	97.30	
2019年12月期第2四半期	63.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	12,470	7,002	56.1
2019年12月期	12,243	6,687	54.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 7,002百万円 2019年12月期 6,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		38.00	38.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,631	9.4	1,533	28.4	1,581	28.8	851	34.4	166.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	5,119,952 株	2019年12月期	5,105,800 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	56 株	2019年12月期	56 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	5,110,798 株	2019年12月期2Q	5,105,793 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、輸出業や製造業、サービス業を中心に急速に減速いたしました。緊急事態宣言は解除され経済活動は、再開しつつありますが、第2波、第3波が懸念されており今後の景気の先行きは不透明な状況が続いております。

世界経済においては、米中貿易摩擦は緊張感を増しており、長期化は避けられない状況に加え、同感染症の世界規模での感染拡大により、景気は急速に悪化しております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、大手企業を中心としたIT関連投資は引続き高い水準にあり、人手不足を背景に業務の効率化や自動化等、堅調に推移いたしました。しかしながら、一部のユーザには、同感染症の影響が出ており、予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは今年で最終年度となる、中期経営計画の重点施策を着実に推進し、計画を達成すべく取り組みを進めてまいりました。同感染症による一部のプロジェクトのスタート遅れ、減員等の影響を部門連係を図り補完のうえ、稼働率を維持し、また、在宅勤務へのシフト等を行うなど感染リスクを低減しつつ生産性に対する影響を最小限にする取り組みを行いました。加えて、全般的に経費が圧縮されたことにより、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高121億31百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益8億83百万円（前年同四半期比51.4%増）、経常利益9億5百万円（前年同四半期比50.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億97百万円（前年同四半期比52.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（情報サービス事業）

情報サービス事業では、旺盛な企業のIT関連投資を受け、引き続き堅調に推移いたしました。「組込み」は、車載や医療、デバイス関連業務の受注が堅調に推移したことにより、「業務システム」は、放送系業務では、同感染症の影響により受注は減少しましたが、業務効率化のシステム開発投資拡大や、既存ユーザからの受注増を受け、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「金融」は、証券系のシステム開発業務の受注が増加いたしました。「フィールドサービス」は、クラウド系の業務は減少したものの、サーバ・ネットワーク構築業務が拡大しており売上高も堅調に推移いたしました。

一方、「携帯端末」は、モバイル端末管理ソフトの開発業務は増加しましたが、主要メーカーのスマートフォンの新規開発機種数の減少や開発費の削減により、「モバイルインフラ」は、基地局開発の業務の低コスト化の影響を受け、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。

利益面に関しましては、売上の増加に伴う増収や、要員稼働率の向上やグループ経営戦略の推進による事業見直しの成果に加え、全般的に経費が圧縮されたことにより、セグメント利益は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は99億94百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益は6億68百万円（前年同四半期比64.8%増）となりました。

（セキュリティシステム事業）

セキュリティシステム事業は、大型案件や既存セキュリティシステムのリニューアル工事を中心に受注が好調に推移しました。また、「建設キャリアアップシステム（CCUS）」も好調に推移いたしました。同感染症による工期や納期等に対する影響は限定的であり、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

利益面に関しましては、増収の影響に加え、第1四半期で増加した経費を全般的な経費圧縮で吸収するかたちとなり、前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は21億37百万円（前年同四半期比15.0%増）、セグメント利益は2億6百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、124億70百万円と前連結会計年度末より2億27百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金等の増加額が、商品やその他、繰延税金資産等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、54億68百万円と前連結会計年度末より87百万円減少いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や未払金、役員退職慰労引当金等の減少額が未払消費税等やその他等の増加額を上回ったことによるものであります。

純資産は、70億2百万円と前連結会計年度末より3億14百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加額がその他有価証券評価差額金等の減少額を上回ったことによるものであります。

なお、自己資本比率は、56.1%と1.5ポイント増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6億26百万円の増加となり、前連結会計年度末（2019年12月31日）の資金残高36億60百万円を受け、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は42億86百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は9億21百万円の増加となりました。この増加は主として減価償却費52百万円、のれん償却額2億48百万円、税金等調整前四半期純利益9億5百万円、売上債権の減少額3億3百万円等の資金の増加要因が、未払金の減少額2億1百万円、法人税等の支払額3億71百万円等の資金の減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は75百万円の減少となりました。この減少は主として、有形固定資産の取得による支出36百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は2億16百万円の減少となりました。この減少は主として、長期借入金の返済による支出11百万円、配当金の支払額1億96百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2020年2月14日公表の「2019年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」から修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「第2四半期連結業績予想数値と実績数値の差異および通期連結業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,677,211	4,289,892
受取手形及び売掛金	4,218,860	4,059,974
前払費用	132,568	155,156
商品	466,347	499,250
仕掛品	142,841	173,028
貯蔵品	2,091	1,819
その他	132,290	73,192
貸倒引当金	△32,357	△32,946
流動資産合計	8,739,855	9,219,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	455,815	462,089
減価償却累計額及び減損損失累計額	△286,577	△292,012
建物及び構築物 (純額)	169,238	170,076
土地	605,084	605,084
その他	548,145	565,202
減価償却累計額及び減損損失累計額	△420,190	△422,758
その他 (純額)	127,955	142,444
有形固定資産合計	902,277	917,605
無形固定資産		
のれん	1,637,246	1,388,682
その他	70,111	82,842
無形固定資産合計	1,707,358	1,471,524
投資その他の資産		
投資有価証券	429,168	422,260
長期前払費用	3,850	3,954
差入保証金	244,833	252,256
繰延税金資産	145,997	111,066
その他	76,631	76,688
貸倒引当金	△6,677	△4,058
投資その他の資産合計	893,804	862,168
固定資産合計	3,503,440	3,251,298
資産合計	12,243,296	12,470,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,412,670	1,326,263
短期借入金	1,320,000	1,320,000
未払金	981,731	776,265
未払費用	77,369	90,807
未払法人税等	373,184	328,203
未払消費税等	342,967	379,982
賞与引当金	20,374	24,522
役員賞与引当金	55,072	29,741
受注損失引当金	2,135	498
その他	430,618	620,307
流動負債合計	5,016,122	4,896,592
固定負債		
社債	16,000	—
長期借入金	9,690	—
退職給付に係る負債	206,663	217,228
役員退職慰労引当金	200,458	45,106
資産除去債務	75,528	77,956
繰延税金負債	22,895	33,415
その他	8,409	198,352
固定負債合計	539,645	572,058
負債合計	5,555,767	5,468,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,717,064
資本剰余金	2,311,704	2,321,243
利益剰余金	2,564,366	2,867,616
自己株式	△92	△92
株主資本合計	6,583,504	6,905,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,317	129,198
為替換算調整勘定	△31,293	△33,012
その他の包括利益累計額合計	104,023	96,185
純資産合計	6,687,528	7,002,016
負債純資産合計	12,243,296	12,470,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,992,447	12,131,610
売上原価	8,395,699	9,140,556
売上総利益	2,596,748	2,991,054
販売費及び一般管理費	2,013,086	2,107,371
営業利益	583,662	883,682
営業外収益		
受取利息	2,008	3,730
受取配当金	10,292	7,158
保険解約返戻金	7,786	—
受取保険金	10,000	—
受取補償金	—	9,363
その他	3,824	7,160
営業外収益合計	33,912	27,412
営業外費用		
支払利息	6,219	3,052
新株予約権発行費	6,350	—
手形売却損	1,816	1,379
その他	1,861	1,545
営業外費用合計	16,248	5,977
経常利益	601,326	905,117
税金等調整前四半期純利益	601,326	905,117
法人税、住民税及び事業税	261,894	360,006
法人税等調整額	13,932	47,843
法人税等合計	275,826	407,850
四半期純利益	325,499	497,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	325,499	497,267

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	325,499	497,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,497	△6,118
為替換算調整勘定	△2,081	△1,719
その他の包括利益合計	9,415	△7,838
四半期包括利益	334,915	489,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,915	489,429

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	601,326	905,117
減価償却費	66,315	52,135
のれん償却額	248,564	248,564
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	719	△1,580
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,790	4,147
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,764	△25,330
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△17,174	△1,637
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,739	10,634
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△42,056	△155,351
受取利息及び受取配当金	△12,301	△10,888
支払利息	6,219	3,050
売上債権の増減額 (△は増加)	508,197	303,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	30,050	△62,816
仕入債務の増減額 (△は減少)	△161,662	△86,309
未払金の増減額 (△は減少)	42,844	△201,010
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,266	37,014
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	190,209
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△103,698	52,858
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	6,071	13,828
その他	△7,946	△775
小計	1,149,389	1,275,766
利息及び配当金の受取額	12,710	11,001
利息の支払額	△6,161	△3,296
補償金の受取額	—	9,363
保険金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△377,221	△371,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,716	921,387

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,563	△36,948
無形固定資産の取得による支出	—	△42,153
投資有価証券の取得による支出	△1,997	△1,604
保険積立金の解約による収入	80,551	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,072,047	—
長期前払費用の取得による支出	△624	△1,591
長期貸付金の回収による収入	36,629	—
その他	△16,511	6,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,022,565	△75,801
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	997,540	1,350
長期借入金の返済による支出	△356,196	△11,080
社債の償還による支出	△21,375	△12,000
リース債務の返済による支出	△2,914	△1,094
配当金の支払額	△167,963	△193,213
新株予約権の発行による収入	6,996	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	456,086	△216,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,954	△3,466
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	220,284	626,081
現金及び現金同等物の期首残高	3,534,280	3,660,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,754,564	4,286,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	9,134,038	1,858,409	-	10,992,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,879	1,718	△43,598	-
計	9,175,917	1,860,128	△43,598	10,992,447
セグメント利益	405,766	165,531	12,363	583,662

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス」セグメントにおいて、株式会社テイクスおよびコンピュータハウス株式会社の発行するすべての株式を取得し(株式会社テイクスは間接保有)、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、1,601,794千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	9,994,023	2,137,586	—	12,131,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,662	5,183	△34,845	—
計	10,023,685	2,142,769	△34,845	12,131,610
セグメント利益	668,790	206,732	8,159	883,682

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。